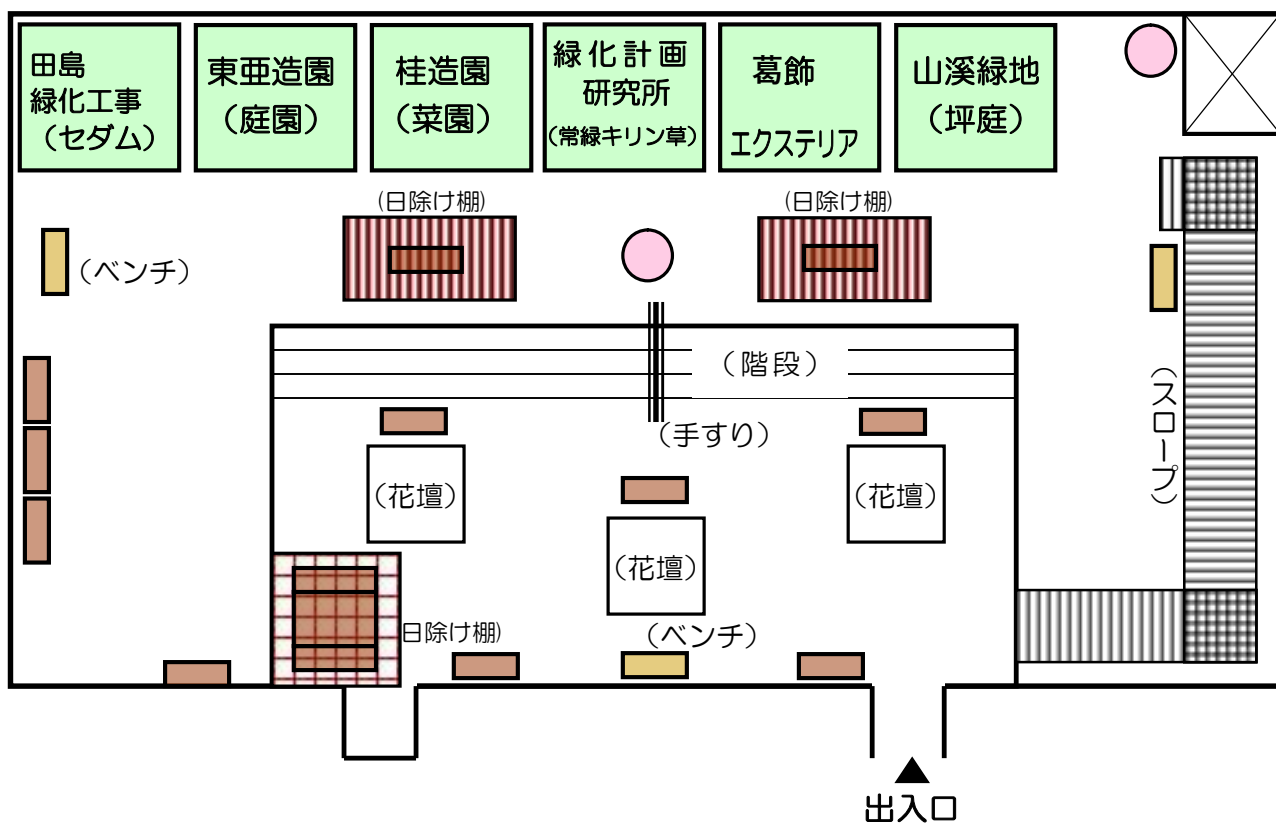


# 屋上緑化見本園 区画設置事業者のご案内

(緑と花のいこいガーデン内)



山溪緑地 ☎03-3602-8117

省スペースに【竹垣】【擬石】【砂利】【樹木】を配置した奥行きのある坪庭です。土壌は、下層に【軽量砂利】中間層に【ココナッツファイバーシート】上部に【タマリユウマット】を使用し軽量化を図っています。土壌の中に鉢を埋め込み樹木を植栽しているので、大きくなりすぎないように成長を管理する事が可能です。



葛飾エクステリア ☎03-5670-4311

日本の杉、檜の樹皮を特殊加工した新しい緑化資材です。水を腐敗させないので、雨水を逃さず利用できます。軽量で気相率が高く保水性も優れているため、土壌量が少なくできるので既存建物への利用が可能になりました。また、保水量が多いため従来工法より散水の回数が少なくてすみます。

**(株)緑化計画研究所 ☎045-326-6587**



常緑キリンソウ袋方式は、これまでの屋上緑化の問題点を解決した新しい緑化システムです。専用土壌を袋に入れ、「雑草対策」「土壌流防」「省管理型」「散水不要」「簡単緑化」を実現し、節電、節水にも貢献でき、CO<sup>2</sup>固定度が高く、環境問題に貢献できる21世紀の環境配慮型の緑化です。「常緑キリンソウ」は種苗登録品種（植物特許）です。詳細は、常緑キリンソウ.com

**(株)桂造園 ☎03-3690-2690**



プランターを作成し、屋上菜園を設置しました。季節によって、色々な野菜や花を育てています。夏にはゴーヤやキュウリなどで「グリーンカーテン」を作ったり、秋にはジャガイモの収穫、春にはシクラメンとハボタンで彩ったりしています。

ご来庁の方々に立ち寄って頂き楽しんでいただけたらと思います。

**東亜造園(株) ☎03-3604-5012**



屋上庭園としての軽量化は勿論、透水性、保水性を考慮しつつ、当社のこだわりである、見て楽しみ、作って楽しむ日本庭園を主題にしています。主木の黒松、真柏は、永年盆栽として鑑賞したものです。日本古来の文化歴史を感じて頂ければ幸いです。



田島緑化工事(株) ☎03-5902-5160

過酷な条件下でも自生できるセダムやマツバギク、常緑キリンソウなどの植物を用いて、省管理で緑化の機能を発揮させます。保水、排水、通気を兼ねるユニットを使用しており、植物に必要な水分を確保し、一定量を超えた水は排水機能が働きます。そして通気機能により、植物の根に新鮮な酸素を供給することが可能です。

## 注意事項

※ 建物の屋上に緑化する時には、建物の耐荷重・防水などの安全性を確認してください。安全性を確認しないで行くと、建物自体に悪影響を及ぼすことがあります。また、風による土壌の飛散、落ち葉や枯れ枝の落下など、周囲の人に危険や迷惑のかからないよう十分注意してください。

※ この案内で紹介した各区画の特徴については、各事業者が提示した内容を掲載したものです。したがって、本区が各区画の掲載内容を保証するものではありません。特に施工費については、施工場所などの条件によって変わりますので、詳細については、各区画の事業者にお問い合わせください。

葛飾区環境課緑と花のまち推進係 ☎5654-8239（直通）

# 屋上緑化の効果

## ヒートアイランド現象を緩和します

ヒートアイランド現象とは、日射により熱せられたアスファルトやコンクリートなどが大量の熱を放出し、あわせて都市活動により消費されるエネルギーからの排熱が加わり、都市部の気温が周辺地域に比べて高くなる現象をいいます。

屋上緑化をすることで、建物本体のコンクリートに蓄えられる熱を軽減し、また、植物の蒸散作用が周りの熱を奪うため、ヒートアイランド現象の緩和に効果があるといわれています。

## 多様な生物の生存空間となります

屋上緑化は、トンボやチョウなどの多様な生物が生きるための生物生息基盤となります。また、実の成る木には、野鳥もやってきます。



## 省エネルギーの効果があります

屋上緑化をすることで、建物の断熱性が高まり、夏期には、室温の上昇を抑える働きが、冬期には外に温度が逃げるのを防ぐ、保温効果があり、冷暖房の使用軽減など省エネが期待できます。



## 憩いの場、やすらぎの場になります

利用されていない建物の屋上に庭園や花壇、家庭菜園などをつくり、緑に親しむ場所として活用できます。



## 都市型水害を抑制します

都市部では、ヒートアイランド現象の影響などによって、短時間の集中豪雨が増えているといわれています。屋上緑化は、降った雨を一時貯留し、水害の発生を抑制します。

